診療科目　　外科

プログラム責任者：益田　宗孝、遠藤　格

プログラムの特徴

本学では外科治療学教室と消化器・腫瘍外科学教室とが共同し、横浜市立大学附属病院と横浜市大学附属市民総合センターがそれぞれ基幹病院となる2つの外科専門医プログラムを用意しています。横浜市立大学付属２病院がお互いに連携施設となり、そして高度専門施設や神奈川県下の中核病院を加えた連携病院施設群を構成しています。

神奈川県の中核病院である藤沢市民病院、三浦市立病院、横須賀市立うわまち病院、横須賀市立市民病院、横浜市立市民病院、横浜市立みなと赤十字病院、川崎幸病院、関東労災病院、上白根病院、国際医療福祉大学熱海病院、済生会横浜市南部病院、済生会若草病院、湘南病院、長津田厚生総合病院、秦野赤十字病院、平塚共済病院、藤沢湘南台病院、保土ケ谷中央病院、横須賀共済病院、横浜南共済病院、横浜総合病院、横浜労災病院、汐見台病院などが当プログラムに参加しており、多くの手術症例が経験可能です。そして、サブスペシャリティーへのステップアップへつながる施設として、横浜市立大学付属病院と横浜市大学附属センター病院の他にも、国立がんセンター東病院、県立がんセンター、県立こども医療センター、県立循環器呼吸器病センター、伊藤病院などと連携を行っており、小児から高齢者まで、またプライマリーケアからターミナルケアまでの外科全般にわたり学習できるのみならず、内視鏡手術などの低侵襲手術や生体肝移植、補助人工心臓といった高度先進医療まで学習できます。

プログラム全体として年間3万例を超える豊富な症例数を有しており、小児・外傷・末梢血管など必要経験症例数が少ない疾患にも対応しています。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、横浜市立大学付属病院外科ローテーション管理委員会が決定します。

プログラムの概要（修得項目）

【1年目】	基本的診断能力および外科基本的知識と技能の習得
【2年目】	低難易度手術の術者、中高難易度手術の助手　　学術として各種学会での発表
【3年目】	中難易度手術の術者やサブスペシャリティー手術　　学会発表／論文執筆

到達目標

１）専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
２）専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
３）上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
４）外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
５）外科領域全般からサブスペシャルティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺、内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

修了後に取得可能となるサブスペシャリティ領域

消化器外科専門医、心臓血管外科専門医、呼吸器外科専門医、乳腺専門医、日本内分泌・甲状腺外科専門医、小児外科専門医

主な協力病院

横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、神奈川県立がんセンター、神奈川県立循環器呼吸器病センター、神奈川県立こども医療センター、神奈川県立足柄上病院、横浜市立市民病院、横浜南共済病院、平塚共済病院、済生会横浜市南部病院、秦野赤十字病院、藤沢湘南台病院、藤沢市民病院、横浜医療センター、横須賀共済病院、横浜労災病院、関東労災病院、伊藤病院、国際医療福祉大附属熱海病院、三浦市立病院、上白根病院、横須賀市立うわまち病院、汐見台病院、横浜総合病院、国立がんセンター東病院、国立病院機構横浜医療センター、市立伊東市民病院、横須賀市立市民病院、横浜市立みなと赤十字病院、川崎幸病院、国際医療福祉大学熱海病院、済生会若草病院、湘南病院、長津田厚生総合病院、横浜保土ケ谷中央病院、大船中央病院